

## 令和8年度都立武蔵高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	言語能力全般の向上に有効な国語力を育成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館と連携して、1年生でビブリオバトルを実施する。</li> <li>・2、3年生の授業で、時事読み物プリントを随時配布する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまなテーマに関する小論文の作成や、評論文の要約への取り組みを通して、豊かな言語能力をはぐくむ。</li> </ul>
地理歴史 公民	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な諸事象を実証的に捉え、生徒自身が地理歴史・公民的な問題を見いだせる教材の開発</li> <li>・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施</li> <li>・大学入学共通テストの問題分析会を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施</li> <li>・探究の方法やレポートのまとめ方について学習</li> <li>・「探究の過程」を踏まえた授業の相互参観を実施</li> </ul>
数学	数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を行い数学を体系的にとらえさせる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深める指導</li> <li>・数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高める教材開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて式、表、グラフ等を活用しつつ、論理的に考え、問題解決の過程を振り返るなどして統合的・発展的・体系的に考えさせる授業の実践</li> </ul>
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然現象に対する思考力・判断力・考察力・表現力・情報活用能力を身に付けさせる観察・実験・探究活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学での研究レベルの発展的な内容を含む入試問題を活用した、模擬的な探究活動の実施</li> </ul>
保健体育	豊かなスポーツライフをデザインする能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種目について研究し、計画を立て、リーダーが主体的に練習を進めるグループ学習を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育的行事では生徒主体で企画運営を進め、「する、見る、支える」というスポーツの多様な関わり方を実践</li> </ul>
芸術	知識・理解を深めた芸術活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学段階で知識として身に付けた内容を活かした自己表現に適した題材開発</li> <li>・中学から高校まで4年間の計画的なカリキュラムの作成</li> <li>・専門性の高い題材への取組を通して生徒の更なる意欲向上を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本を学んだ先に自己表現を模索できる自由創作の機会や、題材の開発</li> <li>・社会と芸術のつながりを理解し、豊かにかかわる資質や能力の育成</li> </ul>
英語	5領域をさらに育成させるための指導改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIを適切に活用し、個別最適な学習の実現を目指す。</li> <li>・使用する教材を十分に吟味し、特に記述問題に対応できるものを選定する。</li> <li>・長期休業中に講習を行い、長文、英文法などの分野、また大学のレベル別の講座を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生でグループ・プレゼンテーション、2年生でディベート、3年生でパブリック・スピーチとターゲットとなる言語活動を設定し、活動的な授業を行う。</li> <li>・GE-NET EEの検定補助を活用し、ケンブリッジ英検を受検し、グローバル・スケールでの評価を指導に活用する。</li> </ul>
情報	情報や情報技術などを学び、自己の学習・進路・生活に役立たせる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報Iの学習において座学と実習を平行して行い、実践的な能力を身に付けるように授業を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休みなどに講座や補講を開設し、プログラムの作成や授業で取り上げなかったアプリケーションの使い方、情報機器の使い方等を身に付けさせる。</li> </ul>
家庭	主体的に行動する力を養い、社会で活躍するための基礎力を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的・体験的な学習を中心に、主体的に考え行動する活動を多く取り入れる。また、広く社会に目を向け、様々な学習と関連させながら環境や社会問題について意識する機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休業期間に「ホームプロジェクト」として、自ら設定した課題について主体的に研究・実践活動を行い、成果をまとめ報告させる。</li> </ul>